

雪害対策のチェックリスト

温室・ハウス

【事前対策】

内容	チェック欄	備考
ブレースや筋かいの留め金具に緩みがないか点検する。		冬の前にチェックをしておく。
基礎部、接続部分、谷の樋・柱に腐食・サビがないか確認する。		
谷樋や排水路、ハウスの際などの落ち葉やゴミを取り除く。		屋根等からの融雪水の流れを止めないようにしておく。
準備していた中柱をたてるなど応急的な補強をする。		パイプハウスなどでは有効。
作物を栽培していないハウスは被覆資材を外す。		
被覆材の表面に雪の滑落を妨げるような突出物がないか確認する。		事前に積雪が滑落しやすいようにしておく。
雪の滑落を妨げる防風ネットや外部遮光資材等が展張されていないか確認する。		
最新の気象情報、警報、注意報を常にチェックし、降雪に注意する。		地形や風向きによっては予報以上の積雪が考えられる。
連続的な暖房をすることも考えて、暖房機の燃油残量は十分にあるか確認する。		雪がみぞれに変わってもかえって荷重が大きくなるので、長時間の加温となる。
融雪のための暖房を早めにやるように稼働させる。		前もって温めるため、降雪前から暖房機を稼働させる。
融雪のための暖房をする場合は、カーテンをあけて、暖気が屋根に行くようにする。		屋根を加温することにより、融雪を促す。
(発電機を持っている場合) 非常用発電機を加温機、環境制御装置に接続できるように準備する。		積雪による停電に備える。

※ 作業中及び見回り時に事故に遭わないよう十分に注意し、安全を確認の上、ほ場や施設の管理を行ってください。

雪害対策のチェックリスト

【事後対策】

内容	チェック欄	備考
積雪等による被害を確認し、壊れた個所を修理する。		自分でできる応急処置をおこない、できないところは業者に修理を依頼する。
ハウス屋根の谷間など雪のたまっている部分に水をかけるなどして除雪する。		谷間の雪が解けにくいので除雪する。
停電があった場合、電気が復旧したら、天窓やカーテンなどが正常に作動するか確認する。		故障等があれば、専門業者に修理を依頼する。
ガラス室の場合、割れ落ちたガラスの片づけをする。		ガラスの片づけ時に手袋をするなど怪我に注意する。
融雪水で過湿になっているので、排水対策を実施する。		
冷水で地温が低くなっているので、保温をする。		
作物が大被害を受けた場合、植え替えなど次の作付の準備をする。		次々作等年間の施設利用を考えて作付する。
積雪による日照不足や多湿が続くので、早めの防除をする。		殺菌剤の散布により、防除する。

※ 作業中及び見回り時に事故に遭わないよう十分に注意し、安全を確認の上、ほ場や施設の管理を行ってください。